

日本エンタープライズ株式会社

第25期 2013年5月期

決算説明資料

2013年7月10日





2013年5月期 決算概況



2014年5月期 事業展開【国内】



2014年5月期 事業展開【海外】



2014年5月期 見通し 【業績予想】

コンテンツ サービス事業

■アライアンスコンテンツの拡大

携帯電話販売会社との協業による スマートフォン向け月額課金会員の拡大

■定額・使い放題サービス向けのコンテンツ提供

auスマートパス・Yahoo!プレミアム向けコンテンツの拡充

■スマートフォン向け月額課金会員の獲得

自社の店頭アフィリエイト※を利用したスマートフォン向け月額課金会員の獲得

ソリューション 事業

■広告(店頭アフィリエイト※)の拡大

スマートフォンの普及に伴う、コンテンツ販売の拡大

■開発案件の拡大

企業向け開発案件(Webサイト・スマートフォンアプリ等)の受注

■コスト削減ソリューションサービスの創出

新事業「リバースオークション」の開始、(株)and Oneの買収

海外 (中国)

■中国電信(チャイナテレコム)との業務提携

2店舗のオープン(チャイナテレコム東方路店、チャイナテレコム黄金城道店)

■人気小説の電子コミック化の推進

盛大グループ『盛大文学』の人気小説「九鼎記」を電子コミック化

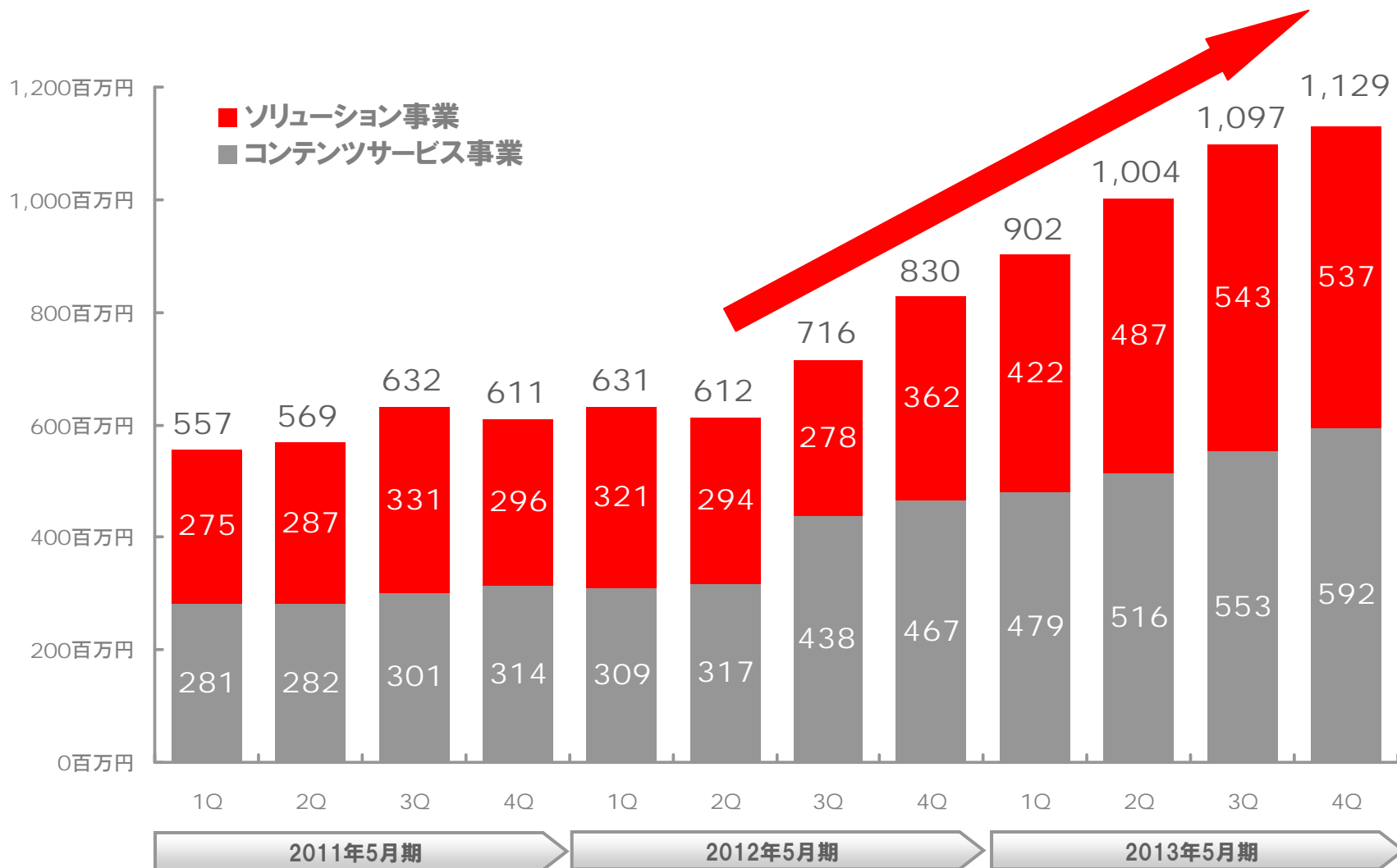
※携帯電話販売会社との協業による成功報酬型コンテンツ販売(リアルアフィリエイト)

連結損益計算書の概況

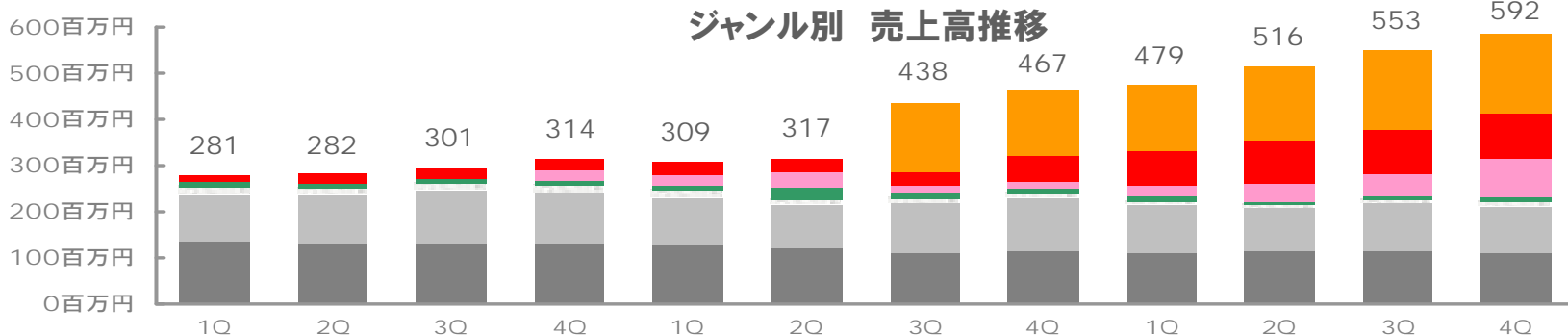
(単位:百万円)

	2012年5月期 (6~5月)	2013年5月期 (6~5月)	前期比	
			増減額	増減率
コンテンツサービス事業	1,533	2,142	609	39.8%
ソリューション事業	1,257	1,991	733	58.3%
売上高	2,790	4,134	1,343	48.1%
売上原価	1,224	2,235	1,010	82.5%
%	43.9%	54.1%		
売上総利益	1,565	1,898	332	21.2%
%	56.1%	45.9%		
販売費及び一般管理費	1,261	1,526	264	21.0%
%	45.2%	36.9%		
営業利益	304	372	68	22.4%
%	10.9%	9.0%		
営業外収益	15	23	7	50.3%
%	0.6%	0.6%		
営業外費用	1	4	2	126.7%
%	0.1%	0.1%		
経常利益	318	391	73	23.1%
%	11.4%	9.5%		
特別利益	25	354	328	1,267.2%
%	0.9%	8.6%		
特別損失	3	46	42	1,210.7%
%	0.1%	1.1%		
当期純利益	170	354	184	108.7%
%	6.1%	8.6%		

増収基調が継続



コンテンツサービス事業：交通情報・ライフスタイル・電子書籍が増収



ジャンル	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
交通情報	0	0	0	0	0	0	147	143	143	159	171	173
ライフスタイル	17	20	26	24	30	30	31	58	77	96	98	101
電子書籍	0	0	0	22	19	31	16	15	23	39	50	80
海外	10	11	10	11	13	30	13	11	11	7	6	12
ゲーム	17	15	17	15	15	11	10	8	7	7	8	12
メール	102	103	114	110	103	94	105	115	103	93	102	98
音楽	134	132	131	131	127	120	112	115	112	113	116	111

2011年5月期

2012年5月期

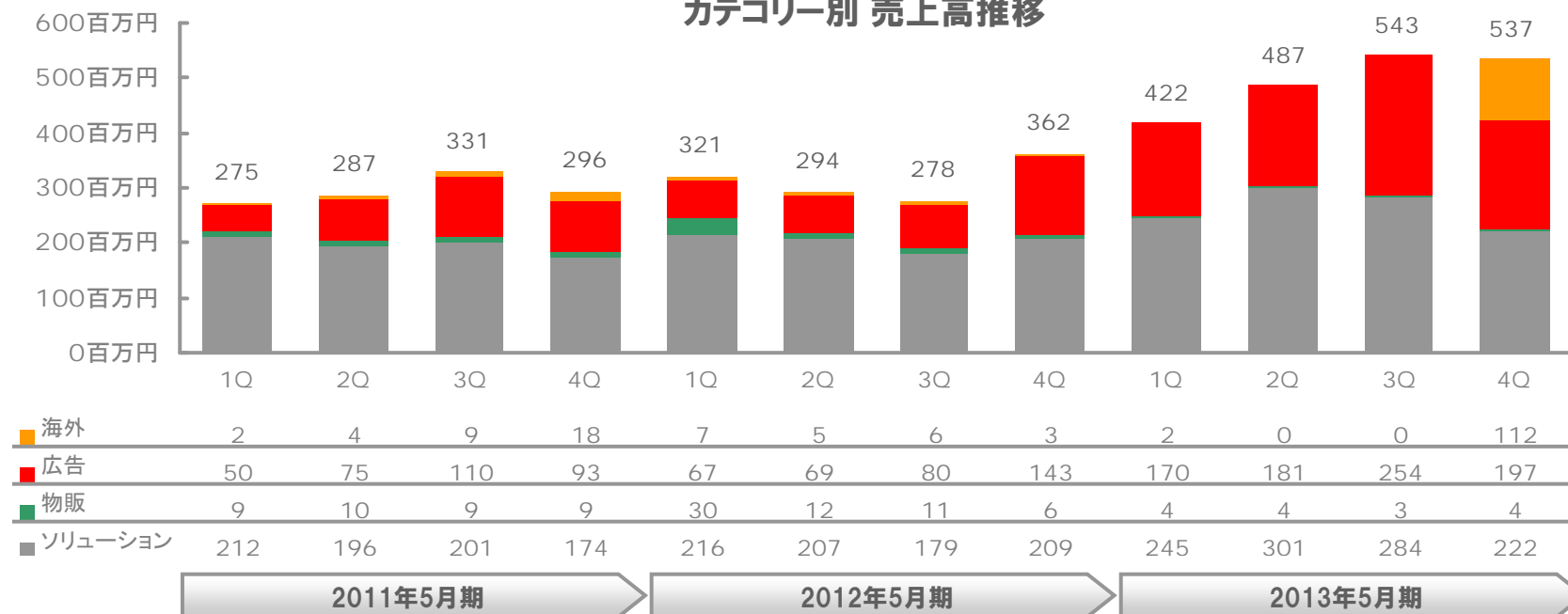
2013年5月期

(単位:百万円)

	2012年5月期 (6~5月)	2013年5月期 (6~5月)	前期比	
			増減額	増減率
交通情報	291	648	357	122.7%
ライフスタイル※	150	374	223	148.6%
電子書籍	83	193	110	133.6%
海外	68	38	▲29	▲43.8%
ゲーム	45	35	▲10	▲22.0%
メール	418	397	▲20	▲5.0%
音楽	475	454	▲21	▲4.5%
コンテンツサービス事業	1,533	2,142	609	39.8%

ソリューション事業：広告、海外(中国・携帯販売事業)が増収

カテゴリ別 売上高推移

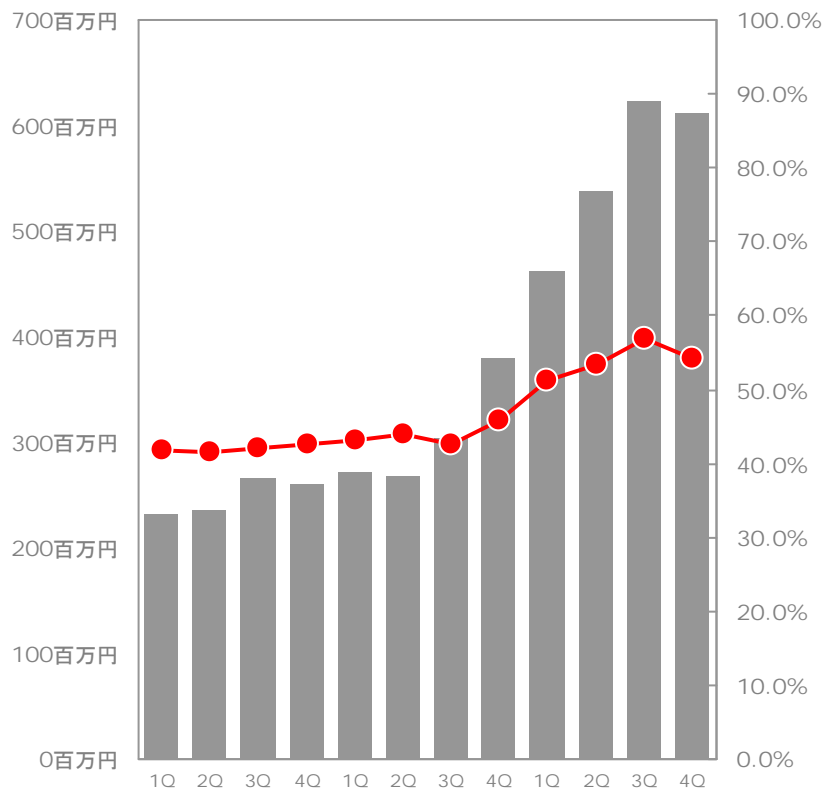


(単位:百万円)

		2012年5月期 (6~5月)	2013年5月期 (6~5月)	前期比	
				増減額	増減率
ソリューション事業	海外	22	115	92	409.0%
	広告	360	803	443	123.0%
	物販	61	17	▲43	▲71.2%
	ソリューション	813	1,054	241	29.6%
ソリューション事業		1,257	1,991	733	58.3%

新サービス開発、中国の携帯販売事業に伴う積極的な人材強化

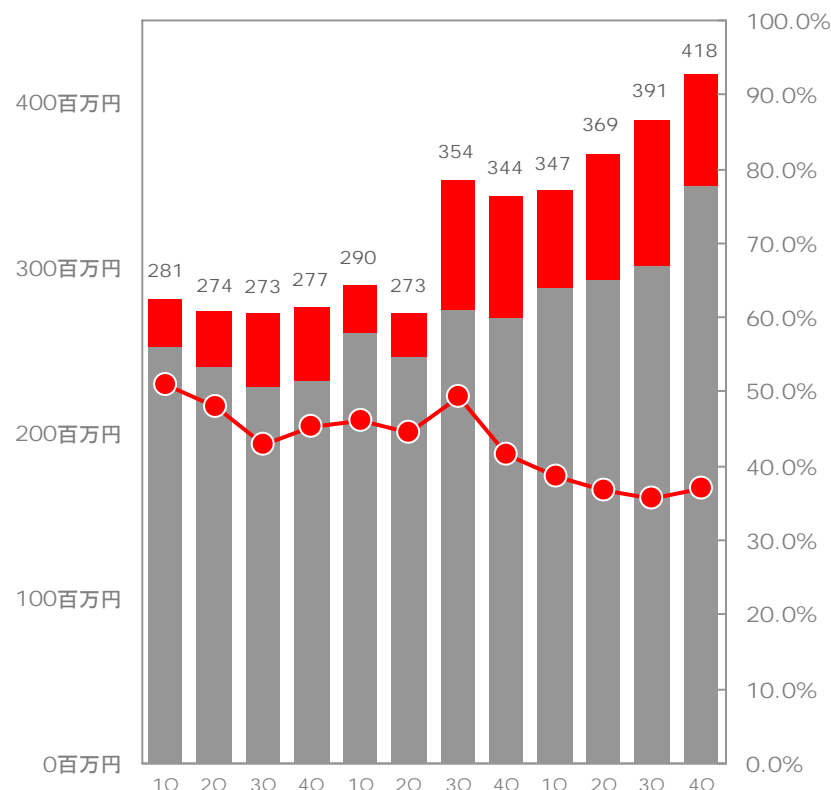
四半期別 売上原価推移



■ 売上原価	232	236	266	261	271	268	304	380	462	537	623	612
● 売上原価率	41.7	41.5	42.0	42.7	43.0	43.9	42.5	45.8	51.3	53.5	56.8	54.2



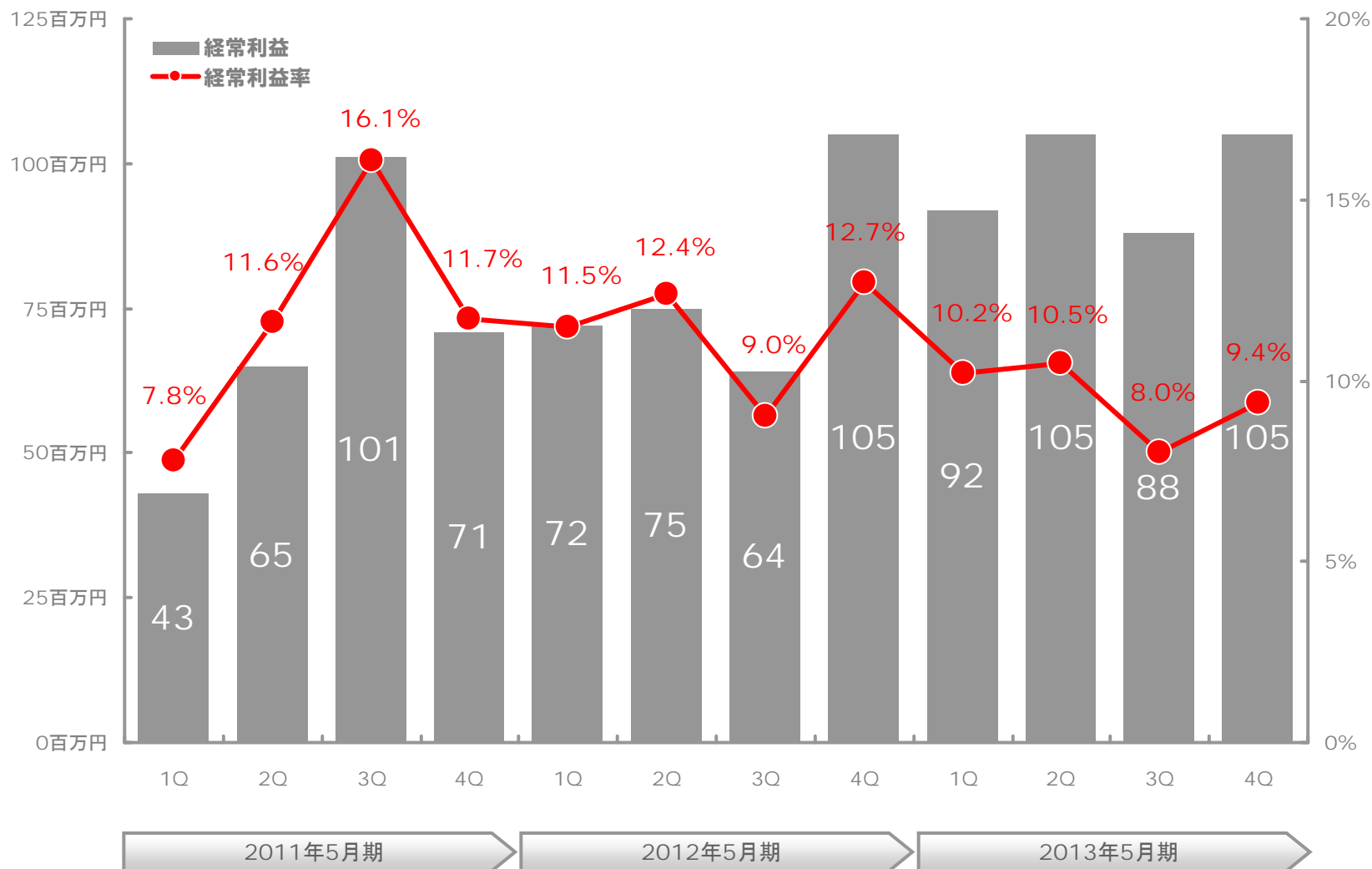
四半期別 販売費及び一般管理費推移



■ 広告宣伝費	29	34	45	44	29	27	78	74	59	76	88	67
■ その他	252	240	228	232	260	246	275	270	288	293	302	350
● 販管費率	51.0	48.0	43.0	45.4	46.0	44.6	49.4	41.5	38.5	36.8	35.7	37.0



増収とコスト削減で、増益トレンドを継続

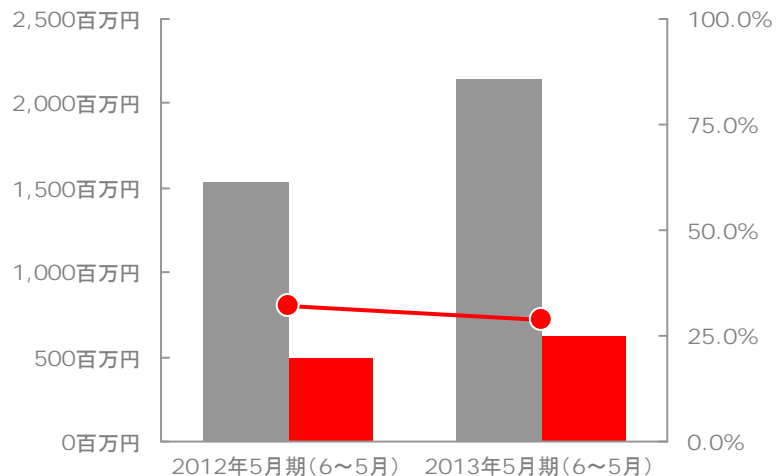


コンテンツサービス事業

ソリューション事業

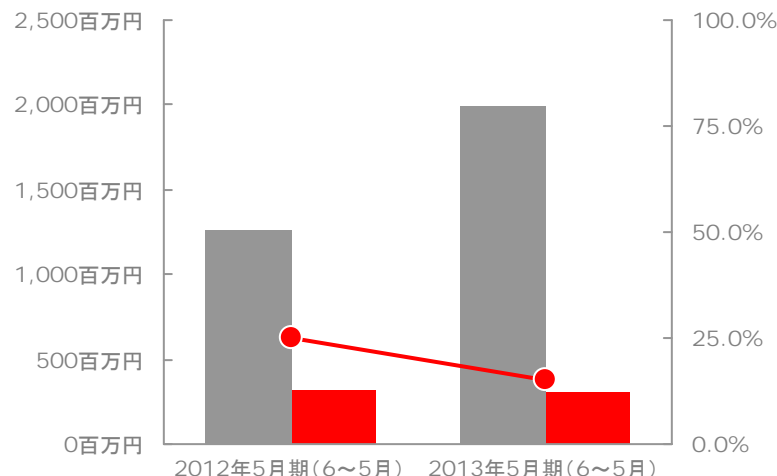
「交通情報」「ライフスタイル」等による増収増益／「広告」による増収、「中国携帯販売事業」による先行投資

コンテンツサービス事業



売上高	1,533	2,142
セグメント利益	494	621
セグメント利益率	32.2%	29.0%

ソリューション事業



売上高	1,257	1,991
セグメント利益	317	304
セグメント利益率	25.2%	15.3%

(単位:百万円)

		2012年5月期 (6~5月)	2013年5月期 (6~5月)	前期比	
				増減額	増減率
コンテンツサービス事業	売上高	1,533	2,142	609	39.8%
	セグメント利益	494	621	127	25.8%
ソリューション事業	売上高	1,257	1,991	733	58.3%
	セグメント利益	317	304	▲12	▲4.0%

※セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整しており、その主なものは、2012年5月期(6~5月)においては各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費494百万円及びのれん償却額13百万円、2013年5月期(6~5月)においては同じく522百万円及びのれん償却額31百万円です。

「現金及び預金」「投資有価証券」等の増加による資産の増加

(単位:百万円)

	2012年5月末		2013年5月末		増減額	主な増減要因
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	2,506	70.1%	3,445	68.0%	938	現金及び預金、売掛金の増加
固定資産	1,070	29.9%	1,624	32.0%	553	投資有価証券の増加
資産合計	3,577	100.0%	5,069	100.0%	1,492	
流動負債	361	10.1%	840	16.6%	479	未払法人税等・買掛金の増加
固定負債	35	1.0%	275	5.4%	240	繰延税金負債の増加
負債合計	396	11.1%	1,116	22.0%	719	
資本金	595	16.7%	595	11.8%	-	
資本剰余金	473	13.2%	473	9.3%	-	
利益剰余金	1,938	54.2%	2,260	44.6%	322	当期純利益の計上、配当金の支払い
株主資本合計	3,008	84.1%	3,330	65.7%	322	
その他の包括利益累計額	57	1.6%	486	9.6%	429	その他有価証券評価差額金の増加
新株予約権	-	-	0	0.0%	0	
少数株主持分	114	3.2%	134	2.7%	20	
純資産合計	3,180	88.9%	3,953	78.0%	772	
負債・純資産合計	3,577	100.0%	5,069	100.0%	1,492	



2013年5月期 決算概況



2014年5月期 事業展開【国内】



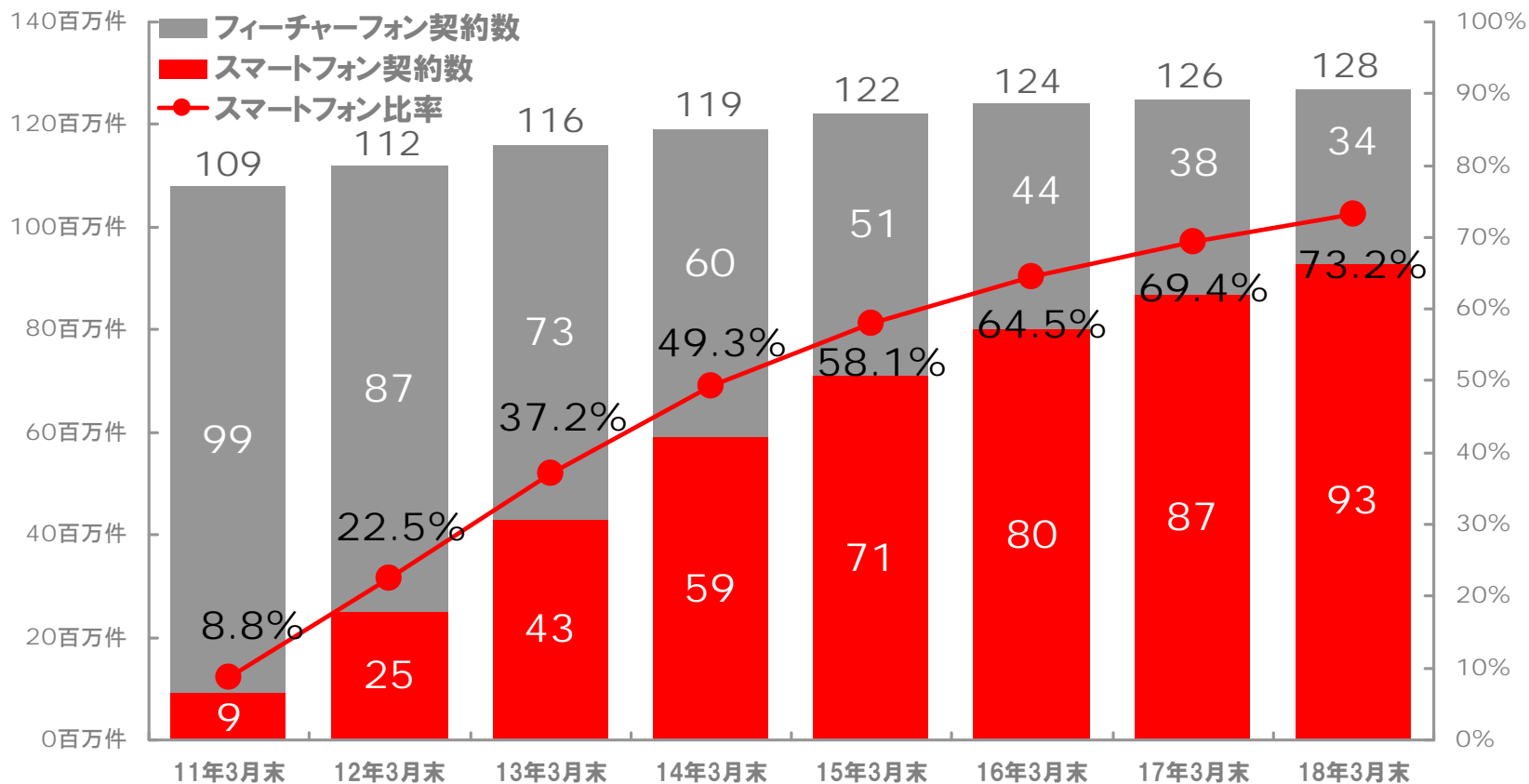
2014年5月期 事業展開【海外】



2014年5月期 見通し【業績予想】

モバイル環境の変化【国内】

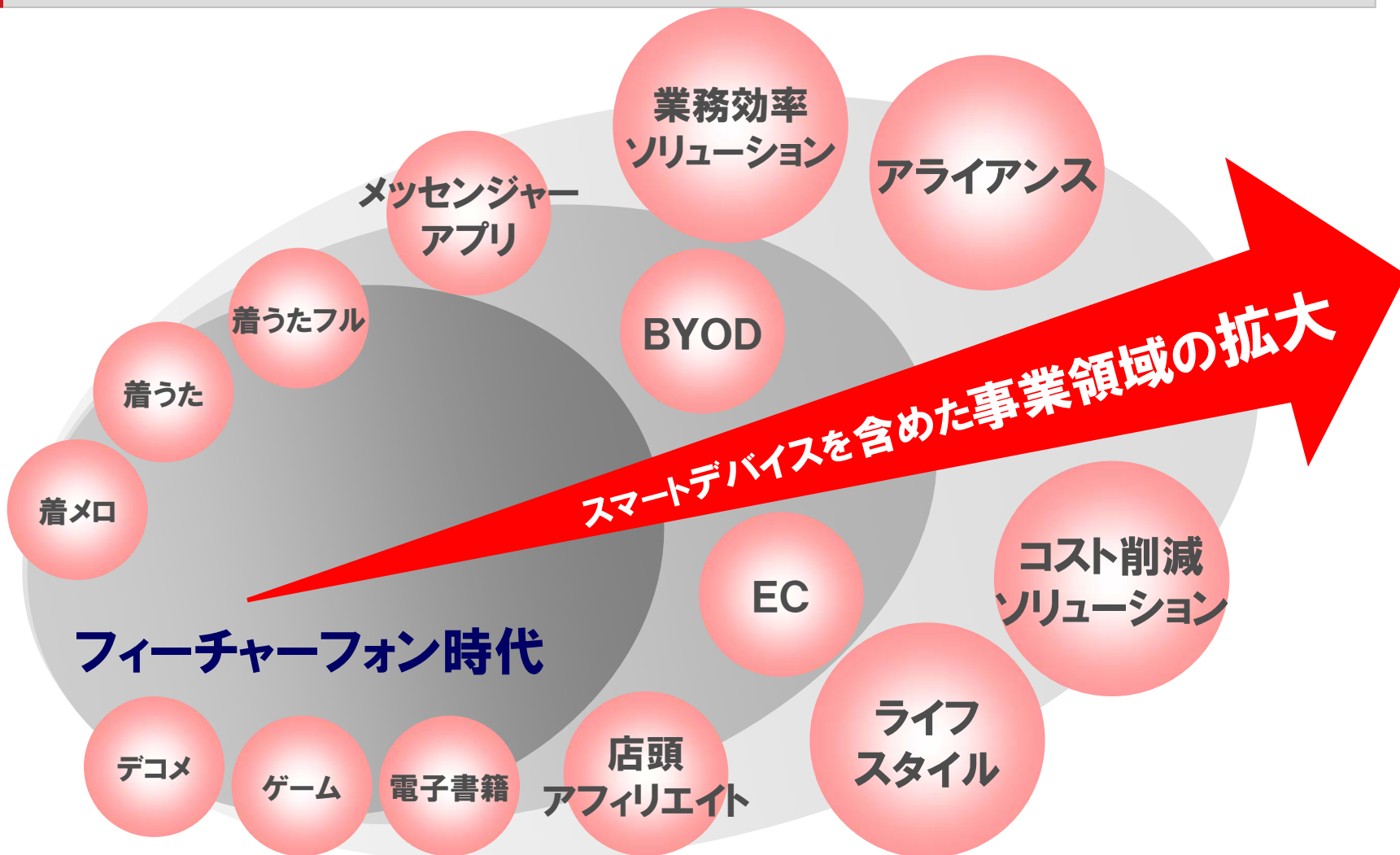
スマートフォン契約数・比率の推移・予測



➡ スマートデバイス時代へ

出所:MM総研の公表データをもとに、弊社作成

スマートデバイス時代における事業領域の拡大



コンテンツ
サービス事業

ソリューション
事業

スマートデバイス時代に対応した コンテンツ販売

ライフサポート

情報



食ベログ

口コミグルメ



音楽配信



英語学習

eコマース



アプリ紹介



電子書籍



優待割引



ネットショッピング



携帯電話
販売会社

携帯電話販売会社と共同開発した**月額課金コンテンツ**を、店頭で積極的に販売

コンテンツ
サービス事業

スマートフォン向け
「定額サービス」へのコンテンツ配信

定額サービス

キャリアによるスマートフォン向け
コンテンツ市場の再構築

- ・安心・安全に利用できる
 - ・複数コンテンツを定額で利用
- ⇒コンテンツ配信事業者のマーケットとは異なる市場を形成



うた&メロ取り放題☆



デコデコメール



デコメ★つくり放題



えもじ★つくり放題



女性のキレイ・リズム



ATIS交通情報



GAME RUSH

auスマートパス

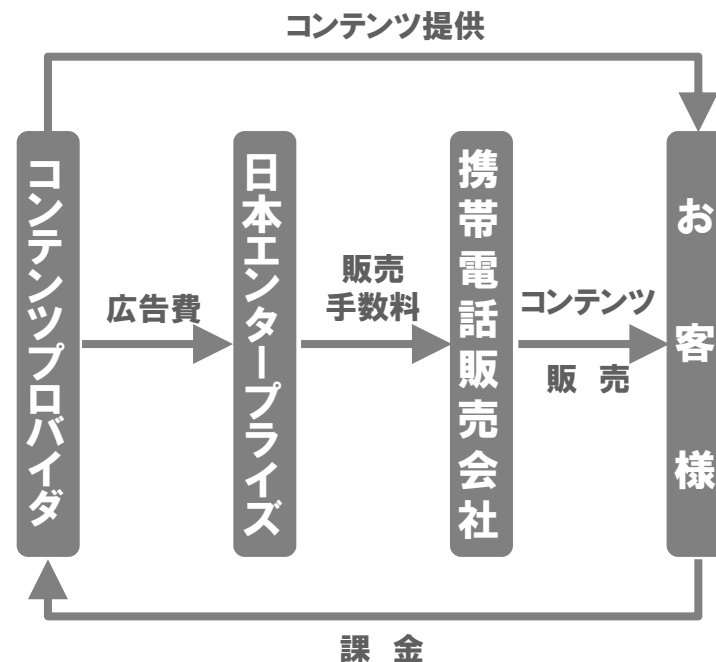
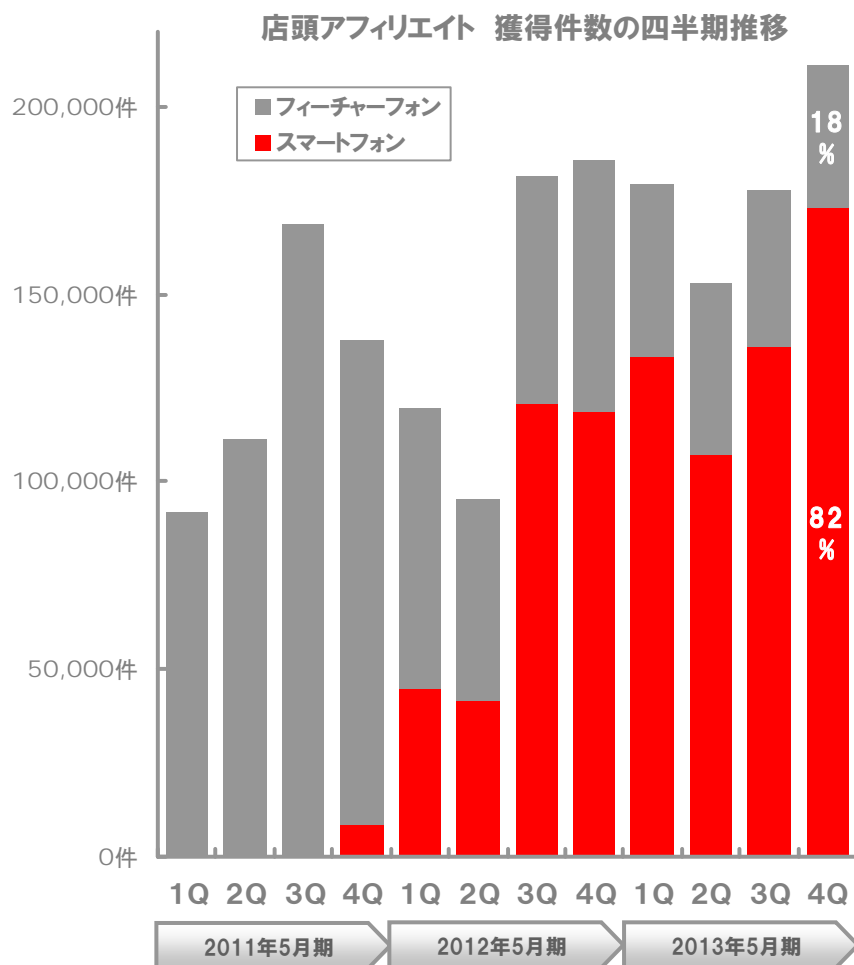
YAHOO! JAPAN プレミアム

スゴ得コンテンツ

スマートデバイス時代を見据えたキャリア施策に対応

ソリューション
事業

スマートフォン普及による広告(店頭アフィリエイト)の拡大



店頭アフィリエイトのビジネス
モデルを活用し、他業種での
販路を創出

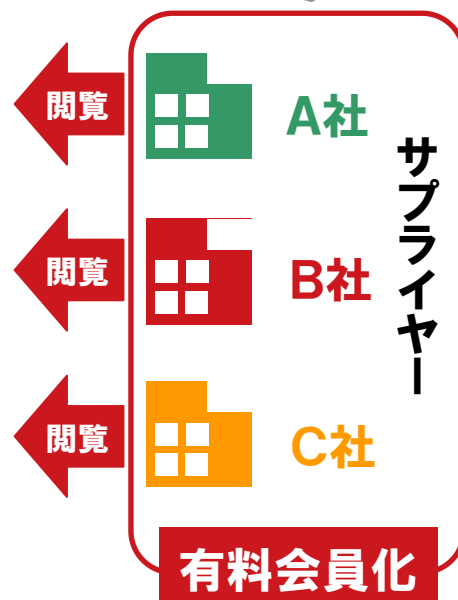
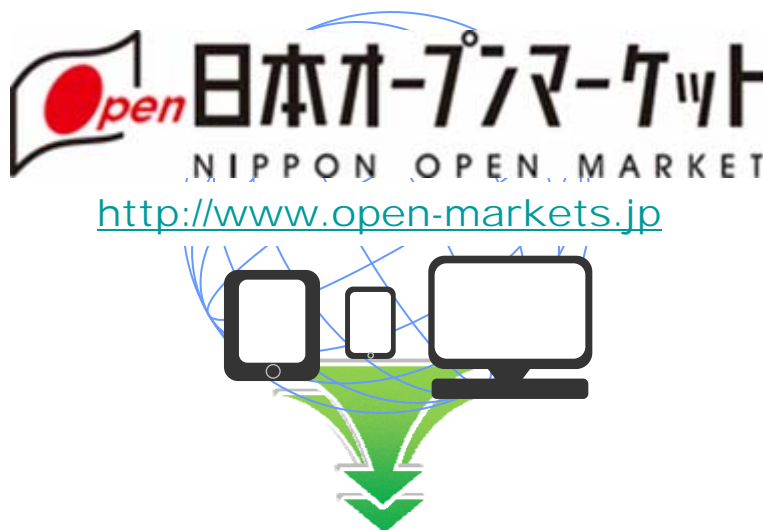
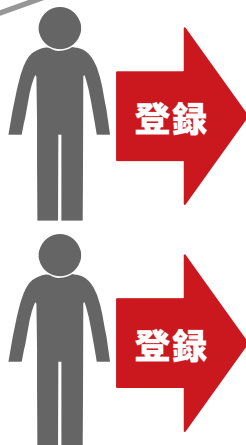
ソリューション
事業

日本オープンマーケット(リバースオークション) 新設

★新規サプライヤーを容易に検索
★より安価な調達が可能

★公募案件情報を容易に入手
★新規取引先が拡大

バイヤー



リバースオークションサービス
「Profair」にて、調達実施



Profair

**月額3,000円の有料会員制
サプライヤー8,000社に拡大へ**



2013年5月期 決算概況



2014年5月期 事業展開【国内】



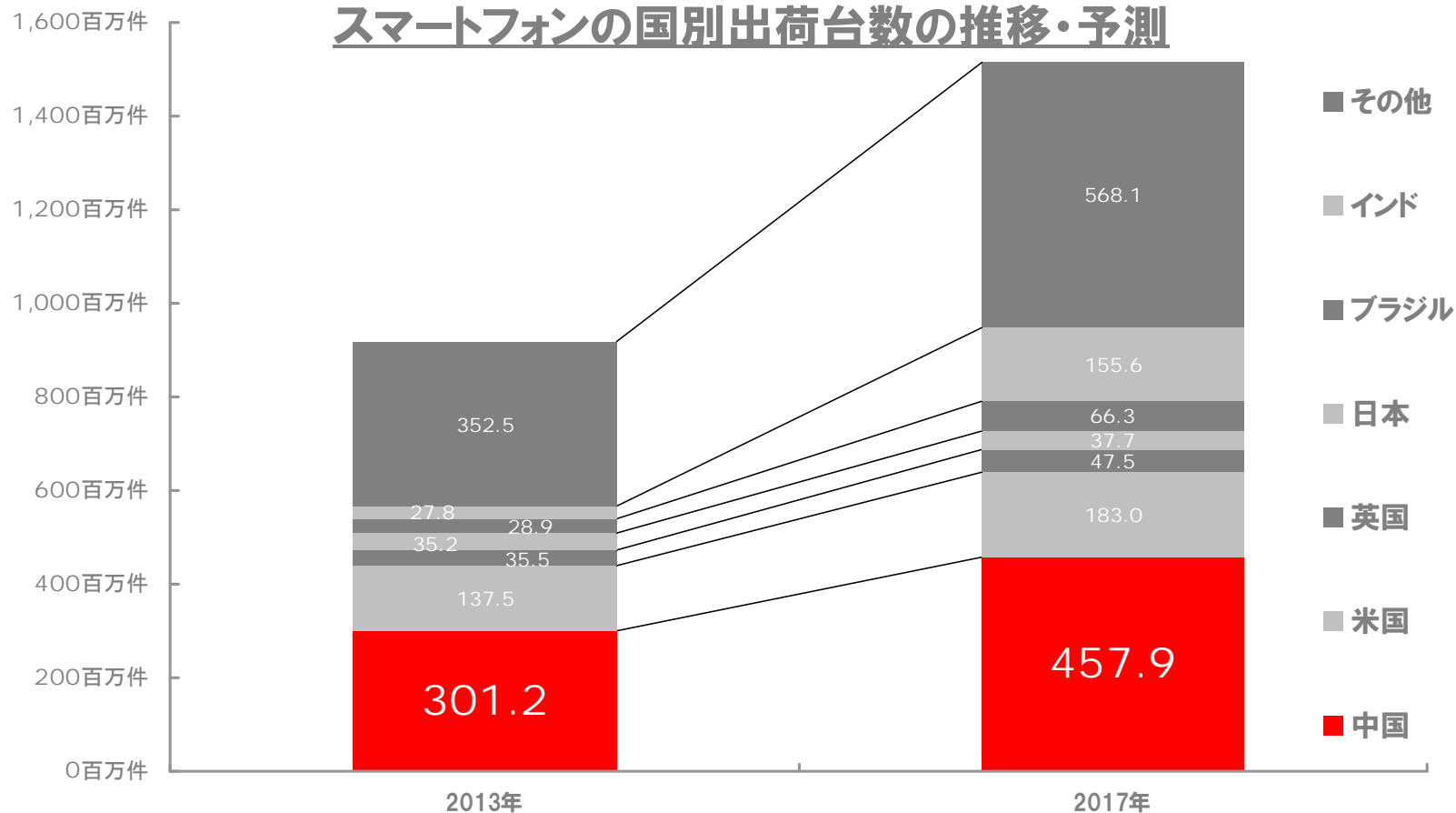
2014年5月期 事業展開【海外】



2014年5月期 見通し 【業績予想】

モバイル環境の変化【海外】

スマートフォンの国別出荷台数の推移・予測



➡ 海外(特に中国)も、スマートデバイス時代へ

出所:米IDC

中国

電子コミック配信の拡大



ビジネスモデル ～人気小説を漫画化～

出版社や
作家と連携

盛大文学

中国の人気小説
「九鼎記」を漫画化電子コミックとして
手機動漫(中国移动)
向けに配信

利用者増

拡大1) 新規タイトルの追加

九鼎記の
ビジネスモデルを活用

拡大2) 配信先の拡大

中国電信、中国聯通等、
配信プラットフォームを
拡大

中国

携帯販売事業の概要



業務提携



因特瑞思(北京)信息科技有限公司

※当社100%出資の中国子会社

チャイナテレコム
中国電信の
携帯電話等の販売

リアル店舗出店による
新たな事業の創造

顧客満足度の向上

販売ノウハウ
の提供

- ・日本式おもてなし
- ・体験型店舗
- ・日本の先進的デザイン

コンテンツ販売の
導入(将来構想)

移動体通信事業者と協業
店頭アフィリエイト展開

中国

携帯販売事業の拡大



～事業拡大に向けた4大戦略～



④ 各店舗、販売台数を拡大させる中、
中国初の店頭アフィリエイトに挑む



2013年5月期 決算概況



2014年5月期 事業展開【国内】



2014年5月期 事業展開【海外】



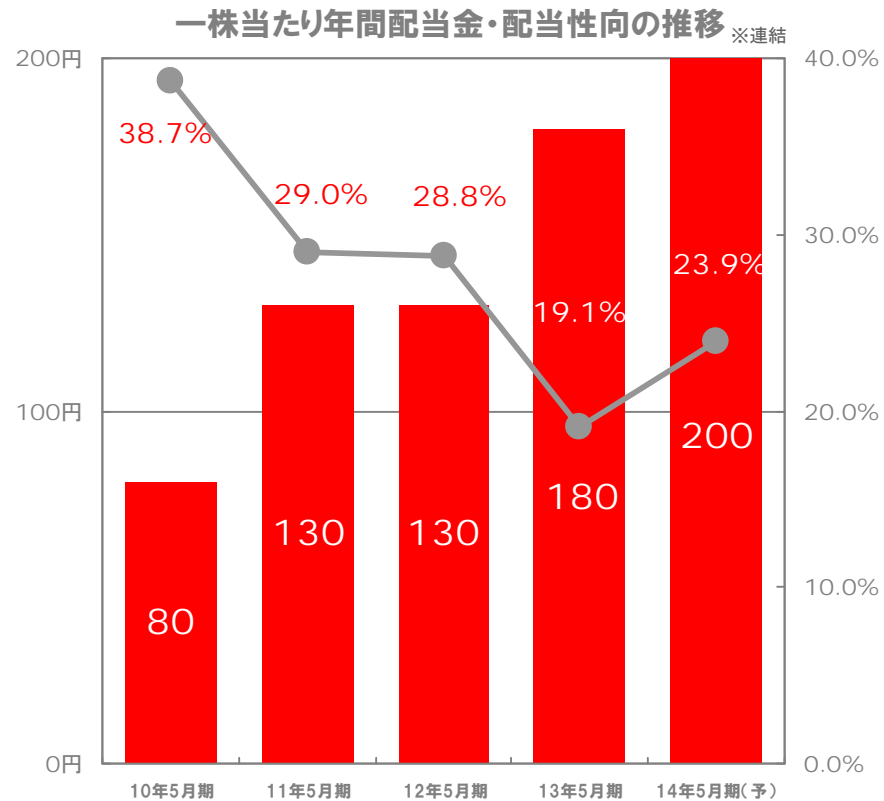
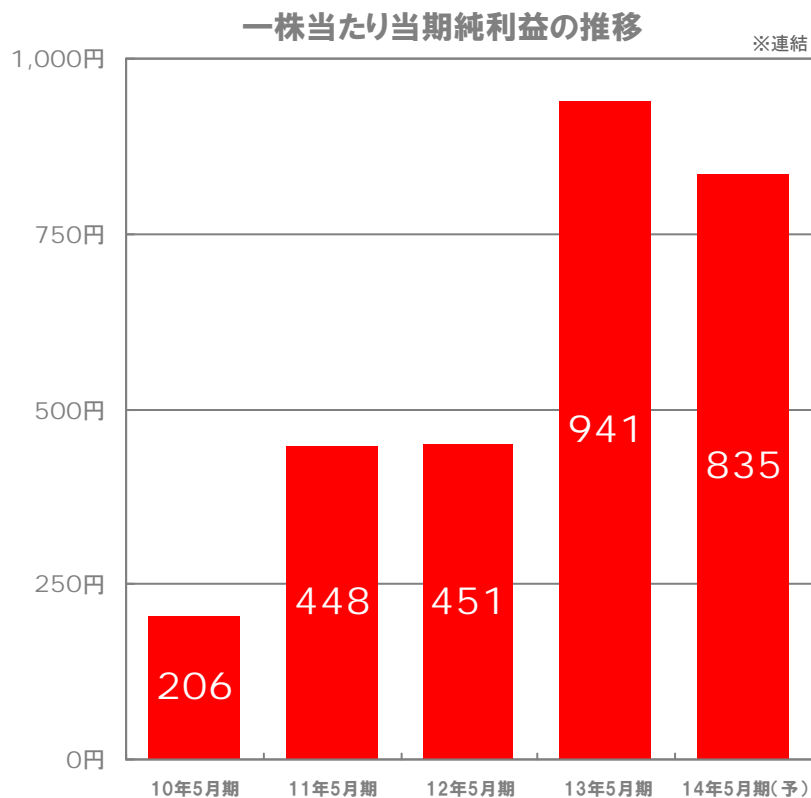
2014年5月期 見通し【業績予想】

連結業績予想

(単位:百万円)

		2013年5月期		2014年5月期(予)	
		金額	前期比	金額	前期比
	コンテンツサービス事業	2,142	39.8%	2,527	17.9%
	ソリューション事業	1,991	58.3%	2,473	24.2%
売上高		4,134	48.1%	5,000	20.9%
営業利益		372	22.4%	520	39.7%
%		9.0%		10.4%	
経常利益		391	23.1%	500	27.7%
%		9.5%		10.0%	
当期純利益		354	108.7%	315	▲11.3%
%		8.6%		6.3%	

配当予想



日本エンタープライズグループは コンテンツビジネスを通じ、 すべてのお客様に喜びと感動をお届けします

この資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「可能性」やその類義語を用いたものには限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた当社経営判断にもとづいています。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。